



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 228

2015/09/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

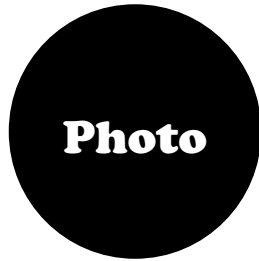
GREEN COLUMN

01. 「すてきな昆虫たち」 始まる

02. 新たに始まる手作り魚道



今月の一枚



「ミヤマクワガタ」

表紙写真・文／鬼丸和幸

博物館の裏玄関で、小型のミヤマクワガタを捕まえました。7～8月にかけて、近くの水銀灯に寄ってくるのか、朝早く来ると、ミヤマクワガタが地面を歩いている姿を度々見かけます。

このミヤマクワガタは、ミヤマクワガタに特徴的な「ツノ（大アゴ）の先が二股になる」ということがなく、初めて見るタイプでした。クワガタムシのツノの形は、幼虫時代を過ごした環境に影響されると言われていますので、ちょっと条件が悪い？環境で育ったのかもしれませんが。

Event. 今月のイベント

特別展「すてきな昆虫たち」 ～10月25日(日)

美幌博物館でお宝をさがせ！ 9月1日(火)～9月30日(水)

プチ工房「意外とかんたん草木染め」 9月10日(木), 17日(木)

みどりの村 ふれあいまつり 9月13日(日)

モノ作り講座「小さな森をつくろう」 9月18日(金), 19日(土)

博物館講座(自然編)「知れば知るほど奥の深いキノコ」 9月26日(土), 27日(日)

Information. 参加者募集

プチ工房 「意外とかんたん草木染め」

●9/10(木), 17(木) 10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたなら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費(200円) ●福田春美(美幌博物館) ●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

モノ作り講座 「小さな森をつくろう」

●9/18(金), 19(土) 10:00 - 12:00 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費・保険料(300円)、タオル、軍手、雨具、植木を持ち帰るビニル袋、野外で活動できる服装(長そで, 長ズボン, 長靴, 帽子) ●町田善康(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(9/1 - 9/16)。対象は幼児から一般、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員8名で締切。申し込み後のキャンセルは9/16まで。それ以降は保険料(100円)がかかります。

博物館講座(自然編) 「知れば知るほど奥の深いキノコ」

【講演会】●9/26(土) 16:00 - 17:30 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●枝澤則行(ふるさと美幌の自然と語る会) ●申込み不要 【観察会】●9/27(日) 9:00 - 12:00 ●美幌町内(集合解散は美幌博物館) ●保険料(100円)、野外で活動できる服装、軍手、雨具 ●枝澤則行(ふるさと美幌の自然と語る会) ●美幌博物館へ電話申込み(9/1 - 9/23)。キャンセルは9/23まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員25名で締切。

博物館講座(自然編) 「身近な場所にいる不思議なトンボ」

●10/3(土) 9:00-12:00 ●美幌町内(集合解散は美幌博物館) ●保険料(100円) 野外で活動できる服装、軍手、雨具、お持ちの方は虫あみ ●鬼丸和幸(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(9/1-9/30)。キャンセルは9/30まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員25名で締切。

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

今月の休館日

7日, 14日
24日, 28日

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

「すてきな昆虫 たち」始まる

写真・文／鬼丸和幸



8月2日より、特別展「すてきな昆虫たち」を開催しています。昆虫たちの不思議でユニークな生活ぶりや、人間との関わり合いなどを主なテーマにして、実物昆虫標本、写真・解説パネル、昆虫をモチーフにした美術品など多数展示していますので、ぜひご観覧いただければと思います。

「セミの声は録音しにくい」一展示の中で、「美幌町周辺で見られるセミの成虫・幼虫の見分け方」コーナーをつくりました。成虫の実物標本と幼虫の抜け殻を展示し、セミの種類の見分け方を解説しています。当初は、このコーナーの中で「ボタンを押すと、それぞれのセミの鳴き声が聞こえる」キットを展示する予定でした。市販の電子回路を組み立て、電子回路中の録音器に、種類ごとのセミの鳴き声を録音すれば完成…のはずだったのですが、いざ電子回路中の録音器に、セミ

の鳴き声を録音すると、エゾハルゼミ以外のセミでは「音がない」「雑音しか聞こえない」ことが判明。よくよく調べると、普通の録音機材では、セミの鳴き声の周波数を感知できないことがわかりました。耳で聞くと、ちゃんとセミの声は聞こえるのに、機械を通すと聞こえなくなる…初めて知りました。

「セミは雨の日を見つけやすい」一晴れている日は、高い木の上にとまっているセミですが、雨の日は、地上近くの草や地面の上にいることがあり、とても見つけやすくなる…これも初めて知りました。

昆虫については、まだまだ知らないことだらけです。

02 GREEN COLUMN
グリーンコラム新たに始まる
手作り魚道

写真・文／町田善康



美幌町では、地域住民が中心となり、魚の移動を妨げていた落差工に手作り魚道が設置されてきました。これらの魚道は、私の想像をはるかに超えた効果を上げ、魚道設置によって失われた自然が急速に回復しています。

そのため、町内の別の川でも、魚道づくりの要望が高まり、今年は再び手作り魚道にチャレンジすることになりました。

今回の魚道も地元のカラマツ材と石を使った魚道です。骨組には木材を使い、特殊なネジやカスガイを使って連結します（写真は、この魚道の骨組み。ミニチュア模型です）。

骨組が完成した後は、この中に石を詰めます。2t ダンプで2台分ぐらいの石と、土のう袋 240 個を入れます。1m の落差を解消するため、石と土のう袋をスロープになるように積み上げ

ていきます。おそらく、今回の魚道づくりで、この作業が最も大変な作業になるでしょう。

最後に、詰めた石は特殊なネットで包み、その上を水が流れれば魚道の完成です。

ちなみに、この魚道は、幅 1m 程度で、川を半分に仕切ります。この設計で魚道がうまく機能すれば、川幅の広い川であっても、幅 1m 程度の工事で、魚道設置が可能になるはずです。今後、手作り魚道を普及させる上でも、期待できるタイプの魚道になりそうです。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



「雨男ですね」。昨年まで、八重柏さんの事をそう呼んでゲラゲラ笑っていると、今年は自分が雨男です。調査は延期、講座も雨メニュー。せっかく準備をしているのに不完全燃焼な日々が続きます。雨男なんて言わないから天気にして下さい。ね！八重柏さん！！(町田)